



tari_nichinan



多里まちづくり推進協議会

検索



多里まちづくり推進協議会総会がありました！

4月27日に令和8年度多里まちづくり推進協議会総会が行われました。
 まち協発足から20年が過ぎ、多里の状況も随分様変わりしてきました。
 少子高齢化が進む中、事業のスリム化を図り、役員も選出しやすくなるよう改正しました。
 今年は、第5次5か年計画も始まる年。
 「誰もが無理することもなく、誰かに負担のかかることのないまちづくり」を目指してがんばります。

今年の重点事業

- 買い物支援の実証実験「買い物ツアー型（荷物を運ぶ）」「御用聞き型（買い物してきてもらう）」
- 住民アンケート（自治会やまち協の事業・運営について）
- 毎週第4日曜日の地域振興センター開放（好きなことを・好きな時間に）など
- 多里の火祭り7月25日

役員のお知らせ



自治会長



このたび、まち協の会長を拝命しました恵比奈礼子です。
 まち協ができてから20年になります。
 この20年間ずっと地域づくりに取り組んで来られたみなさんに心より感謝し、活動を引き継ぐ責任の重大さに身の引き締まる思いです。
 高齢化が進んできましたが、誰もが暮らしやすく、元気が出るような地域になればいいなと思います。
 力不足ではありますが、精一杯働きます。
 どうかみなさんのご協力をお願いします。

榎尾前会長お世話になりました。

10年という大変長い間まちづくりの先頭に立って尽力いただきました。その中には感染症が流行し、事業がなかなかスムーズに行えない時期もありました。地域の防災や支え愛・見守りにとても精通し、多里の体制づくりに積極的に取り組んでいただきました。本当にありがとうございました。今後とも変わらずお力添えをよろしくお願いいたします。



企画部員大募集！！

企画部だけが、個人参加できる部です。ただいま企画部員大募集です。多里地域振興センター 84-0151 まで

星空案内

近頃は日没後、暗くなるにつれて西の空にひと際明るい一番星が見えてきます。これは地球の隣にある惑星、金星です。夕方から夜9時過ぎまで見える事もあり、「宵の明星」とも呼ばれています。

さて、この解説コーナーでも度々出てくる「恒星」と「惑星」ですが、その違いと見分け方を認識できている人は少ないと思います。恒星とは太陽と同じように自らのエネルギーで光っている星で、夜空に見える星はほぼ全て恒星です。

一方の惑星は、その恒星の周りを回っている地球の仲間で恒星の光を反射して光っている星です。

一年を通じて肉眼で見える事の出来る星の数は約8000個と言われており、その中に肉眼で見える事のできる惑星は水星、金星、火星、木星、土星の5つだけです。

ただし、恒星も惑星も星空の中ではどちらも光って見えるため、見分けるにはそれなりに知識が必要となります。

(特に水星は光が弱いので肉眼で見えるには慣れも必要です)

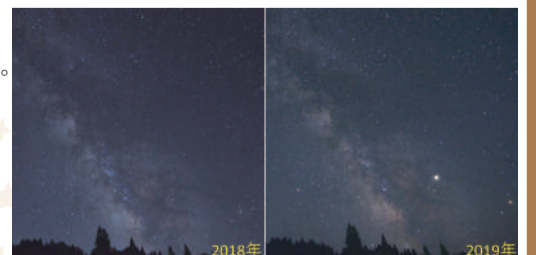
同じように光っている恒星と惑星ですが、両者には決定的な違いがあります。

恒星は星座を象っており、毎日毎時間ちょっとずつ夜空を移動しながらも一年後にはまた同じ位置で見える事ができます。

一方の惑星は、その日その日では同じ位置に見えるように思えますが数週間、数か月という期間で見ると明らかに他の恒星との位置関係が変わっています。

肉眼で見える惑星は比較的明るいので、季節ごとに見える明るい恒星の位置を覚えていくと、本来そこには無いはずの明るい星(惑星)を見分けることができるようになります。

ただ現在は、スマホで無料で使える星空アプリも増えてきたので、それを使うのが一番の近道ですね。



写真・解説

鳥取県認定星空案内人第1号

新田浩志 (星のソムリエ)